１０月２６日定例記者会見事項書

令和８年１０月２６日（月）午後２時～
本庁舎５階　会議室５０１

１．市長からの発表

（１）市政の発展と地域への貢献をたたえて
～令和８年度 市政功労表彰・善行表彰～----------（資料№.１）

（２）「旧上野市庁舎『SAKAKURA BASE』が
グッドデザイン・ベスト 100 を受賞」----------（資料№.２）

（３）地域の防災力を高める　令和８年度伊賀市総合防災訓練
～河合地域住民自治協議会と丸柱地域まちづくり協議会と合同開催～-------（資料№.３）

（４）災害時における要配慮者支援の充実に向けて
～福祉避難所開設運営訓練・福祉専門職トリアージ訓練～----------（資料№.４）

（５）地域を守る消防団の力を高める
～令和８年度 伊賀市消防団総合訓練～----------（資料№.５）

（６）見て・触れて・体験して！「令和８年度伊賀市消防フェスタ」を開催-（資料№.６）

（７）児童虐待と女性に対する暴力のない社会をめざして
～オレンジリボン・パープルリボン啓発活動～----------（資料№.７）

（８）生誕 100 年、榊莫山の芸術に触れる ～記念美術セミナーを開催～---（資料№.８）

（９）サッカーの楽しさを伊賀で体感！

「ドリーム・サッカーin 伊賀」参加者募集----------（資料№.９）

（10）伊賀の農業の未来をともに考える

～「伊賀市夢のある農業振興計画」中間案への意見募集～-------（資料№.10）

（11）三重南北縦貫道路の建設促進及び

国道１６３号の整備促進についての要望を行います----------（資料№.11）

２．その他

（資料№.１）

担　当　連　絡　先
伊賀市未来政策部秘書広報課
担当者名：南出、西條
電話番号：(0595) 22-9600

市政の発展と地域への貢献をたたえて

～令和８年度 市政功労表彰・善行表彰～

１　発表事項の概要

伊賀市市制施行 22 周年に際し、下記のとおり表彰式を挙行しますのでお知らせいたします。

２　内容

（１）日　時　令和８年 11 月２日（月）午前 10 時

（２）場　所　市役所本庁舎庁議室（４階）

（３）内　容　市政功労表彰、善行表彰　表彰式

被表彰者の功績の内容等につきましては、別添のとおりです。

受賞者の写真が必要な場合はメールでデータをお送りいたしますので、秘書広報課へご連絡ください。《秘書広報課Ｅメールアドレス：hisho@city.iga.lg.jp》

（資料№.２）

次のとおり取り扱ってください。		
解禁日		
新聞	10月26日（月）夕刊	
テレビ・ラジオ	10月26日（月）	15時
インターネット	10月26日（月）	15時

担当連絡先
伊賀市産業農林部
中心市街地課中心市街地係
担当者名：中林、山中
電話番号：0595-22-9825

旧上野市庁舎 SAKAKURABASE のグッドデザイン・ベスト 100 受賞について

この度、本市の PFI 事業により再生された旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2026 年度グッドデザイン賞」において、「グッドデザイン・ベスト 100」に選出されましたのでお知らせします。

１　受賞対象

名称：旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE

所在地：三重県伊賀市上野丸之内 116

２　選定の概要

本施設は、1964 年に竣工した坂倉準三氏設計の市庁舎を、図書館や宿泊施設を併設する複合施設として再生したものです。

今回の選定では、モダニズム建築の特性を活かしつつ、将来にわたり用途や時代の変化に柔軟に対応できる設計である点や、図書館と宿泊機能を組み合わせ、収益性と持続可能性を確保した PFI 事業としての手法が高く評価されました。

３　受賞について

本賞への応募・申請は、事業主体である「伊賀市にぎわいパートナーズ」が行いました。

４　本件に関する問い合わせ先

下記の事業者へ直接お問い合わせください。

事　業　者　名：有限会社マル・アーキテクチャ

担　　当　　者：高野・森田・入江

電　話　番　号：03-6824-6740

（資料№.３）

担当連絡先
伊賀市防災危機対策局 担当者名：福田、中林 電話番号：0595-22-9640

地域の防災力を高める　令和８年度伊賀市総合防災訓練
～河合地域住民自治協議会と丸柱地域まちづくり協議会と合同開催～

市民の防災意識と地域防災力の向上をめざして、下記のとおり総合防災訓練を実施します。

（１）目的　住民や地域が自ら考え、行動することで住民の防災意識の向上と災害対応力を養い、自助・共助の強化を図るとともに、伊賀市だけでなく災害協定機関を含む他機関と相互に連携することで、公助の強化を図る。

（２）日時　令和８年 11 月１日（日）午前７時 30 分～午前 11 時 45 分

（３）場所　阿山中学校（伊賀市千貝１０）
丸柱地区市民センター（伊賀市丸柱８３１-１）
音羽生活改善センター（伊賀市音羽１１９）

（４）参加（見込）人数　約 400 人（地域住民・訓練参加者）

（５）内容　市内で震度６弱の地震が発生した想定で訓練実施
①住民主体訓練
②市主体訓練
③災害時応援協定締結企業を含む関係機関と連携した訓練の実施や車両展示、体験ブース

（６）主催者　伊賀市、河合地域住民自治協議会・丸柱地域まちづくり協議会

（７）その他　詳細については、「令和８年度伊賀市総合防災訓練実施概要」をご覧ください。

令和8年度

伊賀市総合防災訓練

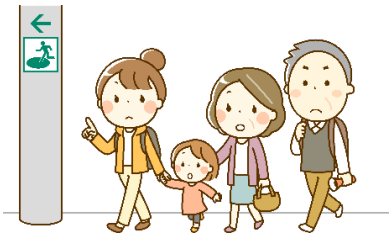
河合地区総合防災訓練・丸柱地区総合防災訓練合同開催

【と　き】 11月1日（日）

【ところ】　第1部▶各地区
第2部▶阿山中学校
丸柱地区市民センター　など

河合・丸柱地区を含む市内で震度6弱の地震が発生したことを想定して訓練を行います

第1部 **各地区**　午前7時30分～



＜安否確認訓練＆情報収集・伝達訓練＞

各地区で安否確認を行い、河合及び丸柱に設置した、地域災害対策本部へ報告します。

▼

＜避難訓練＞

各地区の一時避難場所に避難をします。





▼

＜避難所開設訓練＞

河合地区・丸柱地区で避難所を開設し、避難した住民を受け入れます。

第２部　阿山中学校

午前9時15分～11時30分
※雨天の場合は内容を変更します。

【体育館・教室】
- ◆ 避難所運営訓練
- ◆ 避難所衛生訓練
- ◆ 避難所設営訓練
- ◆ 物資受入・配給訓練
- ◆ 救護訓練（消防団）

【グラウンド】
- ◆ 倒壊家屋救出訓練（消防団）
- ◆ 搬送訓練（消防団）
- ◆ 煙道体験
- ◆ 忍術×防災体験
- ◆ 関係機関による
  災害対応訓練・ブース出展など






丸柱地区市民センター

■要支援者避難対応訓練
■物資受入・配給訓練
■消防団による消火訓練

音羽区

■炊き出し訓練
■消防団による救護訓練



防災ヘリによる訓練

※雨天等により中止の場合があります。

◎音羽区　**午前10時 00分頃**

集落が孤立した想定で、救援要請を行い、三重県防災ヘリコプターから救援物資を受け取る訓練を行います。

◎阿山中学校　**午前10時30分頃**

三重県防災ヘリコプターによる救助訓練を行います。
校舎から要救助者を、上空からホバリングするヘリコプターがピックアップします。



詳しくはこちら
＜市HP＞

【駐車場のご案内】
お車でお越しの方は、阿山中学校グラウンドに駐車してください。

【問い合わせ】
伊賀市防災危機対策局　TEL:0595-22-9640

令和８年度伊賀市総合防災訓練実施概要

（河合地域住民自治協議会と丸柱地域まちづくり協議会と合同開催）

【日時】

令和８年１１月１日（日）

第一部　７：３０～

第二部　９：１５～ 、 閉会式（講評）　１１：３０～

【場所】

阿山中学校（伊賀市千貝１０）、丸柱地区市民センター（伊賀市丸柱８３１-１）など

【主催】伊賀市、河合地域住民自治協議会・丸柱地域まちづくり協議会

【目的】

住民や地域が自ら考え、行動することで住民の防災意識の向上と災害対応力を養い、自助・共助の強化を図るとともに、伊賀市だけでなく災害協定機関を含む他機関と相互に連携することで、公助の強化を図る。

【災害想定】

伊賀市内で震度６弱の地震が発生

【訓練内容】　※雨天の場合は、内容を変更します。

午前７時３０分　地震発生

河合地区災害対策本部設置（河合地区市民センター）

丸柱地区災害対策本部設置（丸柱地区市民センター）

伊賀市災害対策本部設置　（阿山支所）

第一部

▶地域訓練

１．地域の災害対策本部設置・運営訓練（河合・丸柱）

２．安否確認訓練　（河合・丸柱）

３．避難訓練（河合・丸柱）

４．避難訓練（要支援者対応）（河合・丸柱）

５．情報収集・伝達訓練　（河合・丸柱→地域災対→市災対）

▶伊賀市訓練

１．情報収集・伝達訓練　（阿山支所）

第二部

阿山中学校に９時１５分に避難してきます。

▶地域訓練

１．避難所開設・運営・設営訓練　（阿山中学校・丸柱地区市民センター）

※阿山中学校では要支援者や外国人、ペット対応訓練を実施します。

２．物資受入・配給訓練　（阿山中学校）

３．避難所衛生訓練（阿山中学校）

４．炊き出し訓練（阿山保健福祉センター）

５．消防団訓練（阿山中学校・丸柱）

▶伊賀市訓練

１．情報収集・伝達訓練（阿山支所）

２．福祉避難所トリアージ訓練（阿山中学校・丸柱地区市民センター）

３．模擬災害対策本部員会議（阿山中学校）

▶協定団体等の関係機関との連携（実施場所：阿山中学校ほか）

１．訓練

①福祉避難所訓練（特別養護老人ホームぬくもり園）

②物資輸送訓練（近畿福山通運株式会社伊賀上野営業所、三重県トラック協会伊賀支部
株式会社堀川商店、伊賀ふるさと農業協同組合）

③孤立対応訓練：物資輸送・要救助者吊り上げ搬送訓練（三重県防災航空隊）

④道路啓開訓練（株式会社キタモリ）

⑤水道管復旧訓練（伊賀市上下水道協同組合）

２．車両展示

○陸上自衛隊第１０師団第３３普通科連隊　○伊賀警察署　○伊賀市消防本部

○三重三菱自動車販売株式会社　○伊賀環境整備事業協同組合　○株式会社タカミ

○伊賀市建設業協会　○上野建設業組合　○日本郵便株式会社上野郵便局　　（順不同）

３．展示・啓発・体験ブース

○中部電力パワーグリッド株式会社伊賀営業所

○伊賀市社会福祉協議会　○伊賀市消防団女性分団“しのび小町”

○一般社団法人三重県建築士会伊賀支部　○一般社団法人伊賀歯科医師会

○上野ガス株式会社　○三重県伊賀 LP ガス協会　○一般社団法人伊賀薬剤師会

○公益社団法人三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

○伊賀上野ケーブルテレビ株式会社　〇公益社団法人三重県伊賀獣医師会伊賀支部

〇三重県防災対策部　　（順不同）

（資料№.４）

担当連絡先
伊賀市健康福祉部 地域包括支援センター総務調整係 担当者名：岡本、津田、山本 電話番号：0595-22-9710

福祉避難所開設運営訓練及び福祉専門職トリアージ訓練の実施について

１　発表事項の概要

伊賀市総合防災訓練の開催にあわせて、「福祉避難所開設運営訓練」及び「福祉専門職トリアージ訓練」を実施します。これまで、災害時における福祉避難所に関する協定書を締結していたものの、明確な開所基準などが定められていませんでした。こうした課題を解消するため、本年度「伊賀市福祉避難所の開設・運営マニュアル」を策定する予定であり、今回の訓練はそれに向けた実践的な取り組みとして、伊賀市で初めて実施するものです。

２　発表内容

（１）目的

［福祉避難所開設運営訓練］

福祉避難所とは、一般的な避難所では生活に支障をきたす要配慮者のために福祉的配慮を行う避難所です。この福祉避難所の開設における手順などを確認する訓練を、伊賀市社会福祉法人連絡会（以下、「法人連絡会」と言います。）と共同で開催します。

・「伊賀市福祉避難所の開設・運営マニュアル」の案に基づいて開設運営訓練を実施し、マニュアル案の改善点を洗い出します。
・法人連絡会に所属する法人の多くは、福祉避難所の協定を締結しています。
・福祉避難所における円滑な要配慮者の受け入れ、適切な支援体制の確立をめざします。

［福祉専門職トリアージ訓練］

トリアージとは、被災者の健康状態等を確認して受入れや対応の優先順位を判断することを言います。福祉避難所の定員より多くの要支援者が一次避難所に避難している想定のもと、トリアージ訓練を実施します。

・専門職のスキルアップを図るとともに、地域と行政の連携の在り方について確認します。

・災害関連死の予防への取組みを推進します。

（2）日時　2026（令和8）年 11 月1日（日）　8：30～12：00

（3）場所

① 福祉避難所開設運営訓練

特別養護老人ホームぬくもり園（伊賀市馬場 600）

② 福祉専門職トリアージ訓練

阿山中学校体育館（伊賀市千貝 10）

丸柱地区市民センター（伊賀市丸柱 831-1）

（4）参加（見込）人数

社会福祉法人連絡会関係者　約 20 人

特別養護老人ホームぬくもり園関係者　約 15 人

健康福祉部職員　約 60 人

その他、地域住民の皆さまにもご参加いただきます。

（5）内容

① 福祉避難所開設運営訓練

・特別養護老人ホームぬくもり園の BCP（業務継続計画）に基づく訓練

・福祉避難所開設までの施設、災害対策本部との連携訓練

・要配慮者受入訓練

② 福祉専門職トリアージ訓練

・地域住民と連携した市の保健師・社会福祉士によるトリアージ訓練

・災害対策本部における福祉避難所への移送決定訓練

（6）主催者

伊賀市社会福祉法人連絡会

伊賀市（事務局：地域包括支援センター、介護高齢福祉課、障がい福祉課）

（資料№.５）

担当連絡先
伊賀市消防本部　地域防災課
担当者名：山村　智昭
電話番号：２４－９１１５
Ｆ　Ａ　Ｘ：２４－９１１１

地域を守る消防団の力を高める
～令和８年度 伊賀市消防団総合訓練～

１　発表内容

（１）目的

消防団各分団が主体となり、地域住民参加型の訓練を企画し、消防団と地域住民との連携を強化し、共助の精神を醸成することで、地域防災力の一層の向上を図ることを目的とします。あわせて、全国秋の火災予防運動期間中に実施することにより、広く地域住民の防火意識の高揚を図り、火災のない安全・安心なまちづくりに寄与します。

（２）日時、場所、訓練内容

◆主会場（花垣地区）

〇上野西分団・上野南分団

日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～正午

場所：花垣地区スポーツレクリエーション広場及びその周辺（雨天決行）

訓練内容：枯草火災対応の初期消火、林野火災対応、民間事業所連携、負傷者救護、ドローン偵察、指揮連携

◆地区会場

〇上野中分団

日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～正午

場所：伊賀市民体育館及び東広場（雨天決行）

訓練内容：応急手当（AED を用いた心肺蘇生法）、放水

〇上野北分団

日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～正午

場所：三訪小学校グラウンド（雨天時：同体育館）

訓練内容：枯草火災対応の初期消火、避難

〇上野東分団

日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～午前 11 時 30 分

場所：府中小学校グラウンド（雨天時：同体育館）

訓練内容：HUG（避難所運営ゲーム）、放水

〇伊賀分団

日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～正午

場所：柘植小学校グラウンド（雨天時：同体育館）

訓練内容：消火栓取扱い、林野火災対応

〇島ケ原分団　（島ケ原地域防災訓練と同時開催）
日時：令和８年 11 月 29 日（日）　午前９時～正午
場所：島ケ原中学校体育館（雨天決行）
訓練内容：応急手当（AED を用いた心肺蘇生法）、けが人の搬送法、
風水害時における対応
〇阿山分団　（伊賀市総合防災訓練と同時開催）
日時：令和８年 11 月１日（日）　午前７時 30 分～午前 11 時 45 分
場所：阿山中学校グラウンド及び同体育館（雨天決行）
訓練内容：負傷者救護、震災対応救出救助
〇大山田分団
日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～正午
場所：せせらぎ公園グラウンド（雨天時：午前 10 時～正午　大山田小学校体育館）
訓練内容：枯草火災対応の初期消火、放水
〇青山分団
日時：令和８年 11 月 15 日（日）　午前９時～午前 11 時 45 分
場所：青山中学校グラウンド（雨天時：同体育館）
訓練内容：枯草火災対応の初期消火、放水

（３）参加者
伊賀市消防団員、各地区住民自治協議会、消防団協力事業所等

（４）主催者
伊賀市消防団
伊賀市（阿山会場のみ）

（資料№.６）

担当連絡先
伊賀市消防本部　消防総務課 担当者名：北嶋、恵土、福永 電話番号：0595-24-9100

見て・触れて・体験して！「令和８年度伊賀市消防フェスタ」を開催

１　発表内容

（１）目的

災害への備えを楽しく学び、市民一人ひとりの地域全体の防災力を高めるとともに消防の活動を紹介して業務への理解や関心を深めていただくことを目的としています。

（２）日時

2026 年 11 月７日（土曜日）午前９時 00 分から午後３時 00 分まで

（３）場所

伊賀市消防本部及び伊賀市民体育館（伊賀市緑ケ丘東町９２０番地）

電話番号：24-9100

（４）参加（見込）人数

約 2,000 人

（５）内容

・伊賀市観光大使椿りょうさん一日消防長
・伊賀市立緑ケ丘中学校吹奏楽部演奏
・シャボン玉ショー
・消防車乗車体験
・ホースでコースター作り
・庁舎見学ツアー

・緊急消防援助隊活動広報
・消防車と綱引き
・綱渡り、ロープ登り体験
・濃煙体験
・はしご車搭乗体験
・救急隊出動体験
・スタンプラリー
・放水体験
・要救助者救出体験
・ホースでボーリング体験
・伊賀市消防本部・消防団活動紹介
・防災クイズ
・消防車両展示
・防災資機材展示
・キッズ献血
・キッチンカー

（６）主催者

伊賀市

（７）その他

・災害発生時や雨天時はやむを得ず中止又は規模を縮小して開催させていただく場合があります。

・当日の様子を撮影し、伊賀市の広報（ホームページ、SNS、広報物等）に使用する場合があります。

（資料№.７）

担当連絡先
伊賀市 健康福祉部こどもの育ち支援課 こども家庭相談係 徳永　藤岡　電話番号：0595-22-9609 （ライトアップの問い合わせ先） 人権生活環境部人権政策課ジェンダー平等係 永井口　小川　電話番号：0595-22-9632

児童虐待と女性に対する暴力のない社会をめざして
～オレンジリボン・パープルリボン啓発活動～

１　発表事項の概要

①こども家庭庁では毎年 11 月を「秋のこどもまんなか月間」と定め、「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、家庭や学校、地域などの社会全般にわたり、児童虐待防止に関する深い関心と理解を得るための啓発月間としています。市でも、子育て世帯だけでなく、市民一人ひとりの関心と理解を深め協力を得ることが重要であることから啓発活動を実施します。

②内閣府男女共同参画局が、毎年 11 月 12 日から 25 日までの２週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間と位置づけ、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることとしています。市でも、女性に対するさまざまな暴力について知ってもらい、「暴力を許さない」という意識を広げることを目的とし啓発活動を実施します。

２　啓発活動

（１）日時、場所、内容

①-a　啓発活動「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」

１１月２日（月）９時 30 分～10 時 00 分　伊賀市役所本庁舎１階ロビー

・来庁者へオレンジリボン（児童虐待防止のシンボルマーク）と児童虐待防止推進啓発物品を配布し、理解と協力を呼びかけます。

①-b　パネル展示、オレンジリボン・ツリー設置等

１１月2日（月）～１１月３０日（月）　伊賀市役所本庁舎１階市民スペース

・「親子のためのＬＩＮＥ相談周知啓発」

・オレンジリボンツリーの設置

来庁者が虐待防止メッセージを書き、ツリーに飾っていただけます。

・「児童虐待防止推進月間」のぼり掲示

・オレンジリボンの着用（健康福祉部こども関係担当所属職員等）

②-a　啓発活動「パープルリボン・女性に対する暴力をなくす運動」

１１月１２日（木）14 時 00 分～14 時 30 分　マックスバリュ上野店

１１月１２日（木）14 時 45 分～15 時 15 分　伊賀市役所本庁舎１階ロビー

・パープルのスタッフジャンパーを着用した市職員及び伊賀警察署員が、ＤＶ相談啓発物品を配布し、理解と協力を呼びかけます。

・のぼり旗掲示

②-b　伊賀上野城パープルライトアップ

１１月１２日（木）～１１月２５日（水）１８時～２１時

※１１月１４日（土）を除く

（２）主催者

①伊賀市（こどもの育ち支援課）

②伊賀市（こどもの育ち支援課、人権政策課）

（資料№.８）

担当連絡先
伊賀市地域力創造部文化振興課 担当者名：藤島、井田 電話番号：0595-41-0400

生誕 100 年、榊莫山の芸術に触れる ～記念美術セミナーを開催～

１　発表事項の概要

伊賀市出身の芸術家・榊莫山の生誕 100 年を記念し、記念事業の最初のイベントとして、美術セミナー「榊莫山 生誕 100 年にちなんで」を開催します。令和９年度春に予定する記念展覧会に向け、榊莫山の作品と人物像に親しむ機会とします。

２　発表内容

（１）目的　本セミナーを通じて、榊莫山の作品や人物像への理解を深め、書と画の垣根を越えた表現の魅力を知っていただきます。初めて作品に触れる方にも鑑賞を楽しむ手がかりを得ていただき、郷土の芸術家への関心を広げ、その功績と魅力を次の世代へ伝えていくことを目指します。

（２）日時　令和８年 11 月 28 日（土）　13 時 30 分～

（３）場所　ハイトピア伊賀　５階　大研修室

（４）定員　100 名

（５）内容　三重県立美術館副館長の道田美貴氏を講師に迎え、県立上野中学時代から晩年に至る多彩な作品をスライドで紹介し、榊莫山の表現の変化をたどります。作品の背景や人物像にも触れ、作品に込められた思いや、自由な表現の魅力を分かりやすくお伝えします。

（６）主催者　榊莫山生誕 100 年記念展覧会実行委員会、三重県立美術館友の会、三重県立美術館

榊 莫山 生誕100年記念事業 **美術セミナー**

榊 莫山

SAKAKI BAKUZAN
100TH ANNIVERSARY

生誕100年にちなんで



城ノ石垣(伊賀八景) 1994 年　三重県立美術館所蔵

多感な少年時代の息吹が感じられる貴重な県立上野中学時代の作品から、書と画の垣根を越えて自由闊達な世界を切り拓いた晩年の傑作に至るまでの多彩な作品群を、スライドで紹介しながら、莫山芸術の軌跡を辿ります。
作品に込められた情熱や時代背景、そして人間・榊莫山の知られざる素顔にも光を当て、今なお私たちを惹きつけてやまないその芸術の真髄を、皆さんと共に紐解きます。

講 師　三重県立美術館　副館長　道田 美貴 氏

日 時　2026 年 11 月 28 日 ㊏　13:30～

会 場　ハイトピア伊賀 5 階 大研修室　三重県伊賀市上野丸之内 500

定 員　100 名　　**参加料**　無 料　〈申込不要〉

入場無料
申込不要

主　　催／榊莫山生誕 100 年記念展覧会実行委員会？三重県立美術館友の会 三重県立美術館
共　　催／公益財団法人三重県立美術館協力会
お問合せ／榊莫山生誕 100 年記念展覧会実行委員会事務局（文化振興課）0595-41-0400
※この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。

榊 莫山 生誕100年記念事業

生誕100年、そして次世代へ。

本年、私たちは書家・榊莫山の生誕100年という記念すべき年を迎えました。
この大きな節目を記念し、来年度（令和9年度）には、榊莫山の偉大な足跡とその芸術の全貌をご覧いただく展覧会の開催を計画しております。

本年度は、その展覧会へ向けての機運を醸成し、皆様と共に莫山芸術への理解を深める一年と位置づけております。美術セミナーをはじめ、多彩な記念イベントを開催し、改めて榊莫山の魅力に触れる機会を創出してまいります。

榊　莫山（1926～2010）書家

榊 莫山は、現在の三重県伊賀市出身。少年時代から書画に親しんだ莫山は、終戦後の奈良で書家の辻本史邑に出会い、書の世界に入ります。1950年代には、日本書芸院や前衛書道の奎星会で受賞を重ね、将来を嘱望されましたが、師である史邑の没後は書壇を離れ、独りで作家活動を始めます。

日本や中国の書史を研究し、文学者、哲学者、美学者など先学に教えを乞い、さらには道標や看板といった「路傍の書」を訪ねて研鑽を重ねました。1960年代末から、「土」や「女」などの漢字一文字を大胆に扱った作品を発表。1970年代後半には、絵画と詩、書を組み合わせた「詩書画一体」の作風を確立し、「現代の文人」に称されました。



赤門（崇廣堂）（伊賀八景）1994年　三重県立美術館所蔵



青山高原ノ風（伊賀八景）1994年　三重県立美術館所蔵

1926年　2月1日　榊莫山　生誕
1937年　花垣尋常高等小学校6年の時、伊賀学童競書会で特選受賞
1938年　旧制上野中学校入学　松永楳園に書を、佐々木三郎に油絵を習う
1943年　三重師範学校に入学
1945年　終戦。復員後、小学校教員となる
1946年　辻本史邑を師事する　京都大学で美学の研究を開始する
1957年　師の辻本史邑の死去を機に、公募団体を離れることを決意
1961年　奎星会同人を辞退　無所属となる

［関連イベント情報］　体験ワークショップ・公演　（予定）

榊　莫山を知り、その技法や特徴を手がかりに、自分の手で表現する体験ワークショップ。榊莫山に想いを馳せ、一人ひとりの想いや感性を表現してみましょう。ぜひ、ご参加ください。

榊 莫山に学ぶ「一文字」の表現（仮称）

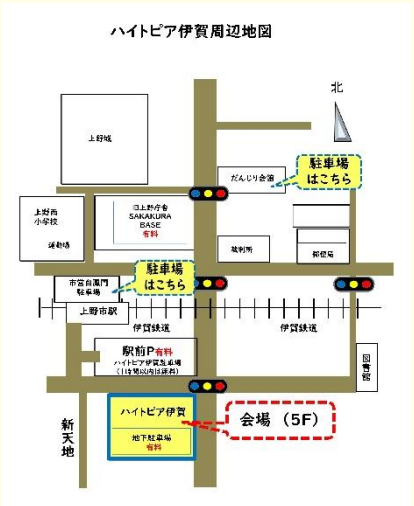
日　時　令和9年2月13日（土）
会　場　ハイトピア伊賀5階　大研修室　　※詳細等は別途ご案内

榊 莫山に学ぶ「詩書画一体」の表現（仮称）

日　時　令和9年3月13日（土）
会　場　ハイトピア伊賀5階　大研修室　　※詳細等は別途ご案内

特別公演　朗読で綴る「榊　莫山」（仮称）　※詳細等は別途ご案内

ハイトピア伊賀周辺地図



お問合せ／榊莫山生誕100年記念展覧会実行委員会事務局（伊賀市役所文化振興課）☎0595-41-0400

（資料№.９）

担当連絡先
伊賀市地域力創造部 スポーツ振興課スポーツ振興係 担当者名：山岡、福森 電話番号：0595-22-9635

サッカーの楽しさを伊賀で体感！「ドリーム・サッカーin 伊賀」参加者募集

１　発表事項の概要

宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカー in 伊賀」を開催します。

２　発表内容

（１）日時　令和９年２月２７日（土）１４時３０分～・２８日（日）９時４５分～

（２）場所　上野運動公園競技場

（３）観覧者数　約３，５００人

（４）内容　一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として全国各地で開催するもので、サッカー元日本代表選手 20 名によるサッカーイベントです。

２月２７日（土）

14:30～　指導者クリニック

２月２８日（日）

9:45～　少年少女サッカー教室

12:45～　開会式

13:00～　アトラクション（PK 対決）

13:30～　ドリーム・ゲーム

（元日本代表選手チーム　VS　伊賀市選抜チーム）

（５）主催者　三重県、伊賀市、一般財団法人自治総合センター

（６）その他

・ドリーム・サッカーに参加したことがある元日本代表選手

令和７年６月　山陽小野田市開催：城　彰二、本田　泰人、福西　崇史、坪井　慶介　など

令和７年１１月　藤枝市開催：武田　修宏、北澤　豪、柏木　陽介、柿谷　曜一朗　など

・宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカー」開催は平成 21 年以来、今回が２回目となる。全国的にも同一自治体で２度開催される例は昨年の藤枝市のみで、本市が２例目となる。

前回観覧者 3,265 名。

・各プログラムの参加者募集については、資料１をご覧ください。

資料１

宝くじスポーツフェア　ドリーム・サッカーin 伊賀

イベントの一般参加者を募集します！

宝くじの社会貢献広報事業として、サッカー元日本代表選手と伊賀市選抜チームによる親善試合（ドリーム・ゲーム）や少年少女サッカー教室、サッカー指導者クリニック、アトラクション（ＰＫ戦）を行います。イベントを一緒に盛り上げてくれる一般参加者を募集します。

１．宝くじスポーツフェア　ドリーム・サッカーin 伊賀の概要

（１）主　催　三重県、伊賀市、一般財団法人自治総合センター
（２）後　援　三重県教育委員会、伊賀市教育委員会、（公財）伊賀市文化都市協会
　　（一社）三重県サッカー協会
（３）協　力　（公財）日本サッカー協会、伊賀市サッカー協会、
　　（株）伊賀ＦＣくノー三重
（４）日　時　令和９年２月２７日（土）午後２時３０分～午後４時３０分
　　令和９年２月２８日（日）午前９時００分～午後３時００分
（５）場　所　上野運動公園競技場
（６）内　容　２月２７日（土）　午後２時３０分　サッカー指導者クリニック
　　２月２８日（日）　午前９時４５分　少年少女サッカー教室
　　午後１時００分　アトラクション（PK）
　　午後１時３０分　ドリーム・ゲーム（親善試合）
　　※ハーフタイム時にドリーム抽選会
（７）その他　元日本代表選手２０人が参加予定
　　詳細は決まり次第、市ホームページでお知らせします

２．サッカー指導者クリニック、少年少女サッカー教室、アトラクション（ＰＫ戦）および伊賀市選抜チームの参加者募集の内容

（１）**サッカー指導者クリニックへの参加者**
- 元日本代表選手（２名）から指導者としての基礎知識から実技指導のポイントまでの指導を受けます。
- 元日本代表選手（２名）と写真撮影をします。（他の参加者と一緒に撮影する形になります。）

【募集人数】：１０名　程度
【対 象 者】：伊賀市在住または伊賀市内へ通勤している方（性別は問いません）

（２）**少年少女サッカー教室への参加者**
- 元日本代表選手が実技指導、ミニゲームを実施します。
- 元日本代表選手と写真撮影をします。（他の一般参加者と一緒に撮影する形になります。）
- 受講終了証がスタッフより授与されます。

【募集人数】：２５名　程度
【対 象 者】：伊賀市・定住自立圏在住の小学４年・５年・６年生

（3）アトラクション（PK戦）への参加者

・元日本代表選手チームとPK戦を行います。
・途中で勝敗が決まったとしても、最後まで全員蹴ります。
・元日本代表選手から記念品の贈呈があります。

【募集人数】：6名（キッカー5名、ゴールキーパー1名）
【対 象 者】：伊賀市在住または伊賀市内へ通勤・通学している方
中学生以上の方（性別は問いません）

（4）伊賀市選抜チームへの参加者

・元日本代表選手チームと親善試合を行います。
・試合時間は60分間（前後半各30分、ハーフタイム15分）で行います。
・勝敗については、同点であってもPK戦や延長戦は行いません。

【募集人数】：7名　程度（30歳代3名程度、40歳代2名程度、50歳以上2名程度）
【対 象 者】：伊賀市在住または伊賀市内へ通勤している方
令和9年2月28日時点で30歳以上の男性

（5）注意事項（詳細は市のホームページを参照してください）

・参加無料
・（1）～（4）のどれか一つのみ応募可能
・応募多数の場合は、申込内容を確認の上、運営委員会において決定し、令和8年12月中旬に参加決定者のみに、メールにてご連絡します。
・応募は一人1回のみとさせていただきます。
・イベントの様子が主催者やマスメディアの広報媒体に掲載されることがあり、参加者の顔や姿が写ることがあります。
・ピッチでの写真、動画の撮影や、選手へサイン、記念写真を求めることは厳禁となっています。

（6）申込期間　令和8年11月1日～令和8年11月20日（金）

（7）申　　込　専用の申込フォームから申込み

問い合わせ先
〒518－8501 伊賀市四十九町3184番地
伊賀市役所　スポーツ振興課
電話　22-9635　FAX22-9694
メール　sports@city.iga.lg.jp

（資料№.10）

担当連絡先
伊賀市産業農林部農業振興課 農業政策係 担当者名：山添、藤森 電話番号：0595-22-9712

伊賀の農業の未来をともに考える

～「伊賀市夢のある農業振興計画」中間案への意見募集～

1　発表事項の概要

伊賀市の農業について、現状や課題等を把握及び分析し、伊賀市の農業振興を図るための基本的な方針や展開する施策を定める「伊賀市夢のある農業振興計画」について、中間案がまとまったことから、パブリックコメントを募集します。

2　発表内容

（1）目的

市民等の意見等を市政に反映し、市民等と行政が協働して市政の推進を図るため

（2）内容

伊賀市農業振興計画中間案に対する意見等

（3）募集方法

【閲覧方法】

市ホームページ、本庁舎１階ロビー、本庁舎３階農業振興課、各支所、各地区市民センター

【募集期間】

2026（令和８）年 10 月 26 日（月）～2026（令和８）年 11 月 24（火）

【提出方法】

ご意見記入用紙に、氏名・住所・電話番号・「該当ページ・該当箇所」とそれに対する「意見内容」を記入の上、ウェブフォーム・郵送・ファックス・Ｅメール・持参のいずれかで提出

・ウェブフォームの場合　右記の二次元コードより

・郵送の場合　　〒518-8501　伊賀市四十九町 3184 番地
伊賀市産業農林部農業振興課
・ファックスの場合　0595-22-9712
・E メールの場合　　nourin@city.iga.lg.jp
・持参の場合　　農業振興課もしくは各支所

（４）結果の発表方法

・提出いただいたご意見及びご提案は計画策定の検討資料とし、伊賀市ホームページで公表します。（住所、氏名等の個人情報は公表しません。）
・個別の回答は行いません。
・いただいた意見書などは返却しません。

（資料№.１１）

担当連絡先
伊賀市建設部建設政策課 公共基盤推進係 担当者名：豊田、島井 電話番号：0595-22-9723

１１月の要望活動について

要望内容	要望日時	要望先
三重南北縦貫道路の建設促進	１１月１０日	国土交通省 財務省
国道１６３号の整備促進	１１月１１日	三重県庁

・三重南北縦貫道路建設促進期成同盟会
　構成団体：伊賀市、津市、松阪市、大台町、紀北町
・一般国道１６３号（津市・伊賀市間）整備促進期成同盟会
　構成団体：伊賀市、津市

※要望後、要望書と当日の写真を送付いたします。